

目 次

建設機械の将来	高畑 政信	1
電源開発の現状とその見通し		2
佐久間ダム仮排水路隧道掘削工事について	松原 良夫	8
建設機械工業の発達について	高木 薫	14
昭和28年度における建設機械の		
輸入の概況と国産化の諸問題について	吉見 浩一	18
建設機械の保険について	水谷 寿	22
建設省の実績より見た		
国産ブルドーザの水準(其の1)	伊丹 康夫	23
Bulldozer 修理費と時間の関係について	田中 常三	27
現場から——(X)“碎石砕砂”(その二)	中岡 二郎	30
抄 訳——碎石と製砂	山本 格	35
日本建設機械化協会の動き		
昭和29年度需給調査について		41
北海道支部便り		
成功した泥炭地用ブルドーザの公開実験		42
講演と映画会の開催		42
編集後記		43

◇表紙写真説明◇

大塚工場製クラッシングプラント

(中国電力株式会社湯原ダム築造用)

株式会社大塚工場は中国電力株式会社殿の御注文により、昭和28年6月湯原ダム右岸に全碎石のクラッシングプラントを建設し、この製品によってコンクリート量24万立米のダムを築造中で、既にコンクリート打ちは90%程度に進行し、本年中には完成予定と聞き及ぶ。

要項	能力	150 吨/時
	粗骨材	4種、砂 1種、
主 要 機 械		
	#10 ジャイレトリークラッシャー	1台
	30 吋ファインジョークラッシャー	2台
	3 呎コーンクラッシャー	2台
	5 呎×10 呎ロードミル	2台
	6 呎×25 呎クラッシュファイヤー	2台
	振 動 篩 機	9台
	其 他	フィーダー、コンベヤー等